

上野原縄文の森 だより



UENOHARA JOMON NO MORI

2004.12

vol. 7

16.11.6 ウォーキング in 上野原縄文の森



コラム

テーマ 「NIEによる生物と人間の歴史勉強」

私の専門は植物生態学、現在の言葉で言えばエコロジーである。エコロジーは生物相互間の関係や環境との関係を研究する学問分野である。多様な生物の集団を生態系と言うが、その生態系内の生物の関係、他の生態系との関係も研究の対象となる。考古学は過去の人類が残した遺跡や遺物などから、当時の人類の生活や文化などを研究し、明らかにして行く分野である。大昔の環境は現在のそれとは異なっていて、その自然を上手く利用しながら古代の人類は生きてきた。更に時間を遡ると新人、旧人、猿人となり、遂には人と言う概念では表現できない動物に辿り着く。そうすると、もう考古学の世界ではなく、古生物学や地質学の研究対象となる。従って、古い時代の人類や多くの生物の姿を解明するには、多くの学問分野の協力がなければ解明は出来ない。皆さんは人類の祖先には大いに興味をお持ちだろうが、私は生物学者だから人類を含めた生物の昔に興味を持っている。

そこで、自宅で購読している新聞の環境、生物、発掘の記事を切り抜き、昔の生物と人類の勉強と併せて現在の環境の変化について勉強をしているが、その方法は新聞の記事を利用する方法、今流行のNIE(Newspaper in Education)、すなわち新聞を利用する勉強である。新聞に掲載された生物や人類の祖先の化石、世界各地で出土した人類の文化的出土物は新聞に詳しく掲載されている。今から何年前に、どの遺跡からどのような物が出土したか、その出土物はどのような意味をもっているかなどが書かれている。それらの記事をパソコンで時代別に並べて入力すると、人類を含む生物の歴史と人類が作り出した文化財や制度などの発展が良く分かり、立派な歴史、それは地球の歴史といった方が良いのかも知れないが、自分なりの教科書ができる。

例えば、日中共同長江文明学術調査団が中国湖南省の6500年前の城頭山遺跡から稲のプラントオパールが出土したという記事(1999年7月2日 朝日・南日本新聞)があり、これが証拠となって稲作が既に6500年前に行なわれていたことが判明した。黄河文明より早く長江文明が存在していたということが分かる。日本(当時は日本という国はなかった!)では稲の栽培が従来の弥生時代の初めよりも500年早くなるとの考えも出されている。インドのウツタルプラデッシュの洞窟では白い砂岩に赤色で動物画や牛に乗っている人物が描かれている。日本ではこの頃は旧石器時代で、石を細工した道具らしい物が出土しているだけである。このように世界規模で人類の発展の歴史が見えてきて、引き込まれて行く。皆さんも好きなテーマでやってみませんか。

上野原縄文の森園長 田川 日出夫



年末年始の休園日
12月30日～1月1日

展示館

常設展示室



企画展示室

第10回上野原縄文の森企画展
2001.12.30まで開催！
発掘された鹿見島の文様



発掘された鹿見島の文様



1月2日(日)限定
第10回記念しおり配布！

企画展講演会開催

11月20日(土)県立埋蔵文化財
センター東和幸文化財主事による講
演会を開催いたしました。
講演会の中で、東さんの指導
のもと縄文土器に文様をつける
燃糸よひいとを実際に作りました。



縄文の森コンサート

8月3日に、霧島国際音楽祭の一環で、縄文の森コンサート「管楽アンサンブルのひととき」が展示館ロビーで行われました。当日は、管楽器が奏でる音色が館内全体に響き、訪れた方々は縄文文化に触れながら聞き入っていました。



国分南中「ボランティアガイド」

地元国分市の国分南中のみなさん（選択教科で社会科を選択している3年生）が、今年も8月3日から8月9日までの間、訪れた方々に園内のガイドや、アクセサリーブづくり、火おこしなどの活動補助として活躍しました。また、10月26日には、「上野原遺跡ボランティアガイド」への取り組みと題した学習指導法研究公開が行われました。これらを通して、生徒のみなさんと先生方のボランティアガイドに熱心に取り組む姿勢をうかがい知ることができました。生徒のみなさん、「ボランティアガイド」で学んだことを今後の学校生活、社会生活に活かしてくださいね！



秋まつり

10月2日、3日に好天の下「秋まつり」を開催しました。初日は、始良郡内の4団体による民俗芸能祭で始まり、迫力ある踊りに訪れた観客は見入っていました。体験学習館とその周辺では、両日「お楽しみ体験」と題した土器づくりやアクセサリーブづくりなどの体験、弓矢とばし大会や丸太のこ引きゲームなどの催し物と出店でにぎわっていました。エンディングは、森の恵みを取る若者の音楽祭が行われ、参加した4グループがすばらしい歌と演奏を披露して盛大に終了しました。



民俗芸能祭



縄文人も感動していました。



若者の音楽祭



ウォーキング大会

11月6日、さわやかな秋空の下、第3回「ウォーキングin上野原縄文の森」を開催しました。縄文の森コース（2.5km）、上野原台地コース（4.5km）、桜島コース（7.0km）のそれぞれお好みのコースを散策した参加者は、すばらしい景色を見ながら、各コースに設けられたスタンプを押したりクイズに答えたり、あちこちからにぎやかな声が聞こえていました。ゴール後はくん製餅や石蒸しいも、どんぐりうどんも振る舞われ、また、お楽しみ抽選会も行われ楽しい大会となりました。

この大会にご協力くださった、どんぐり倶楽部の会員のみなさん、ボランティアのみなさんありがとうございました。



スタンプポイント

一番にゴールするぞー！



ゴール後のランチは最高！

台風被害



今年は、全国各地で、たて続けに襲来した台風の被害にあい、縄文の森でも、たくさんの樹木が被害にあいました。



7月中旬、タレントのはなわさんがテレビ番組の収録で、縄文の森を訪れました。稀ですが、有名人もひよこっと訪れています。（気付いてないないだけ？）遊びに来たら会えるかもしませんよ！？

7/24~25

夏休み早々、今年度第一回目の宿泊体験！今回のテーマは「カブトムシ」。「カブトムシ」JOYリンピック」と題した綱引き大会やレース大会・相撲大会があり、会場のあちこちから、自分のカブトムシに傲をとばしたり笑い声が絶え間なく聞こえていました。カブトムシについて、おおいに学びながら遊んだ楽しい一日でした。



夕食（縄文料理）



手作りの竹製の食器での夕食
みんな、おいしく食べてたね！

スターウォッチング☆



県立博物館の先生の説明を熱心に聞いていました。知っている星はいくつあったかな？

一泊二日体験コース

8/21~22

夏休みも終盤。夏休みのいい思い出になりました。第二回目のテーマは「土器づくり」。

土器の形になるまでは、粘土をちぎって丸めたり、指でつぶしたり、模様をつけたり・・・苦勞です。それだけに、想いのこもったオリジナル土器が完成した時は感動でした。他にも「まき割り大会」、「弓矢飛ばし大会」などの「JOYリンピック」や、夜はキャンプファイヤーが行われました。



出来上がった土器は秋まつり(10/2)に野焼きをしました。



弓矢飛ばし大会
一矢入魂！遠くまで飛んでけー！



キャンプファイヤー
火が小さくなるまで、いろいろなゲームをして楽しかったね。

ジョイJOYじょうもん体験

7月~10月

9/18 第2回「音を楽しむ」

今回は、手作りの楽器作りに挑戦しました。前半は、粘土を用いて卵くらい大きさの「土笛作り」。口で吹く穴の「歌口」と音階を出す穴の「指孔」がポイントで音が出ないと何度も穴の調整をしていました。後半は、王冠を用いて「タンバリン作り」、ストローを使って「パンパイプ」、厚紙やストローを使って「ポロクケン」と呼ばれる楽器を作りました。(いずれもストロー等の長さで音階を調整) 最後は、完成作品の音色に皆さん感動していました。



「土笛作り」うまく音がでるかなあ？ ほら、ちゃんと音が鳴るよ！

一日体験コース

10/16 第3回「木の実で遊ぶ1日」

秋晴れの空の下、前半は園内のどんぐりや自然の素材を使って動物や飾りを作りました。後半は、どんぐりを石臼や磨石・石皿を使って磨りつぶし、どんぐりクッキーを作りました。また、どんぐりクッキーが出来上がるまで「どんぐり釣り」などのゲームで楽しみました。

最後は、出来上がったどんぐりクッキーでティータイム！どんぐり三昧の1日となりました。



「どんぐりアート」



「どんぐりクッキー作り」



「どんぐり釣り」



「どんぐりファミリー記念撮影」

第5回 1月15日(土)「大空に夢を乗せて」(凧つくりと羽子板・羽根つくり)

第6回 2月19日(土)「縄文の生活具つくり」(かごつくりと住居つくり)

※参加ご希望の方は、お問い合わせください。

縄文の森

体験学習館

古代家屋群

見る 学ぶ 遊ぶ

展望の丘

復元集落

縄文文化に触れ森の自然を
味わえる場所がここにある

森の逸品

上野原遺跡から出土した土製の耳飾で国の重要文化財に指定されています。

耳飾は、縄文時代中期以降多く見られますが、上野原遺跡からは全国に先駆けて縄文時代の早い段階(約7,500年前)で出土しています。

土製耳飾には、環状を呈する輪状耳栓と円盤形の臼状耳栓の2種類があり、大きさも大小様々で直径12cmの大型のものもあります。

これらは、ピアスのように耳たぶに穴をあけて装着していたと考えられています。

耳飾には、「幾何学文」や「渦巻文」「S字文」などの文様がつけられ、ベンガラ(酸化第二鉄)で赤く彩色したものもあります。

上野原遺跡から出土したこれらの耳飾や壺形土器に描かれた渦巻文をモチーフに、上野原縄文の森の施設は造られています。

⑤ 土製耳飾



上野原縄文の森支援友の会

どんぐり倶楽部

通信⑤



どんぐり倶楽部活動報告



▲9/25 十五夜行事体験

▼11/6 ウォーキング
in 上野原縄文の森



▲10/2, 3 秋まつり出店



どんぐりうどん大好評!

みなさんは、「どんぐりうどん」を召し上がりましたか?どんぐり倶楽部では、5月の上野原縄文の森の“春まつり”から、どんぐりうどんを販売しています。10月には、佐賀県吉野ヶ里公園「秋まつり」でも販売してきました。9,500年前、上野原は恵み豊かな森が広がっていたと考えられています。ここに住んでいた当時の縄文人たちは、くん製、石蒸し、土器を使った食材の煮炊きなど多岐にわたる調理方法で、自然の素材を活かした食事をしていたようです。どんぐり倶楽部では、そうした当時の環境も考慮しながらどんぐりうどんの販売を行うこととしました。うどんを作る際に、うどん粉にどんぐり粉を混ぜながら麺を作っていきます。麺に色がついていますが、どんぐり粉の色です。今後も、上野原縄文の森の諸イベントを中心に販売していく予定です。ぜひご賞味下さい。

どんぐり倶楽部では、上野原縄文の森をサポートしながら、上野原の歴史に思いを寄せた活動ができるよう努めています。これからもよろしくお願ひします。

会長 植村春人

会員募集中!!

あなたの特技
活かしてみませんか?



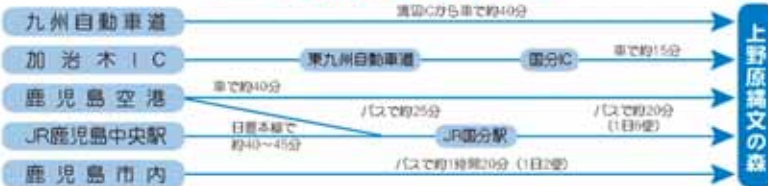
活動内容 ・縄文の森主催体験事業の指導補助
・体験メニューの開発 など

詳しくは、どんぐり倶楽部事務局（縄文の森内
TEL 0995-48-5701）までお問い合わせください

【開園時間】 午前9時～午後5時
【休園日】 毎月第1・第3月曜日（休日の場合は翌日）
12月30日～1月1日（年末年始）

【観覧料】（団体は20名以上）※展示館内の展示室・シアターのみの有料
◆個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円
◆団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円
（県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として観覧するとき等は減免措置有り）

交通のご案内



【編集・発行】財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
〒899-4314 鹿児島県国分市川内1376番地1 電話 (0995) 48-5701 FAX (0995) 48-5704
URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail : uenohara@jomon-no-mori.jp